

3. 信濃川水系長野圏域河川整備計画（浅川）

(1) 河川の整備の実施に関する事項

1) 河川工事の目的

[外水対策]

100年に1回程度の確率で発生すると予想される降雨（130mm/日）により生じる洪水（千曲川合流点で1秒間につき450m³）に対し、確実性、経済性、効率性に優れ、自然と調和した治水対策として、治水専用ダムによる洪水調節、河床掘削・根継工・護岸工等の河川改修による河積拡大により、小布施町吉島地区、長野市豊野地区、長沼地区、柳原地区、古里地区、朝陽地区、吉田地区、三輪地区、若槻地区、浅川地区、上松地区において、洪水氾濫から家屋等への浸水を防止し、資産を守る。

[内水対策]

下流域における既往最大被害となった昭和58年9月台風10号と同規模の洪水に対し、排水機場の整備を行い、一部地形的に低い部分を除き、下流域において、概ね床上浸水被害を防止する。

2) 施行の場所及び整備の内容

[外水対策]

①河川改修

場所：千曲川合流点から新田川合流点上流までの約7.2km区間及び県道他力橋から県道宇木大橋までの約2.2km区間

河川整備の種類：河床掘削、根継工、護岸工

②浅川ダム（治水専用ダム）

場所：千曲川合流点より上流約14km、長野市一ノ瀬地区

形式：重力式コンクリートダム

堤高：53m

堤頂長：165m

総貯水量：約110万m³

目的：〈洪水調節〉

ダム地点への流入量130m³/sのうち、100m³/sの洪水調節を行い、下流域での洪水被害を防止する。

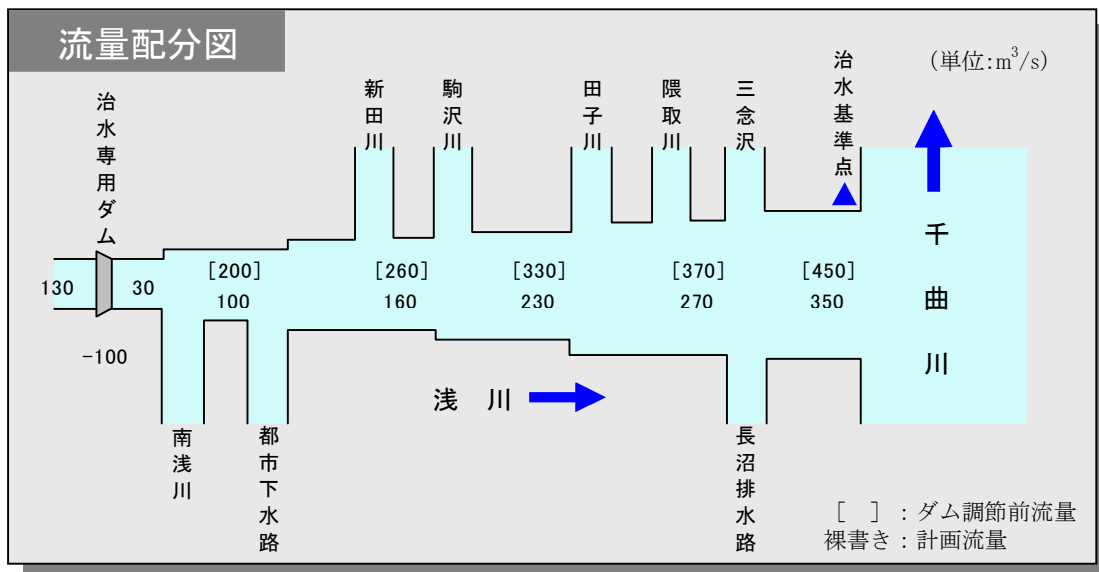


図 2.1 浅川の流量配分図

[内水対策]

①排水機場の整備

場所：千曲川合流点直上流

河川整備の種類：浅川の排水機場整備

平面図

